

一 般 質 問 通 告 事 項

(平成29年第3回白岡市議会定例会)

第1通告者

13番 石原富子 議員

1 公用車の管理運用について

- (1) 公用車68台の運用状況、特に稼働率等の現況について伺う。また、部署ごとの保有台数は適切か。
- (2) 車両の新規更新時、車種やハイブリッドカーの導入についての検討やコストの比較が行われているか伺う。
- (3) 車両保険や任意保険の更新時、合い見積りを取り比較検討をしているか伺う。

2 公共施設の管理、改修予定等について

白岡市の公共施設等総合管理計画が平成28年2月に出されているが、今回はコミュニティセンターと中央公民館の施設並びに雇用されている人の活用について伺う。

- (1) 生涯学習センター完成後、現在の公民館で働くシルバー人材センターの方々の活用はどのように考えているのか。
- (2) 2施設の今後の年間メンテナンス費用の推移について。
- (3) 2施設の大規模修繕の予定時期と費用予測について伺う。
- (4) その後の2施設の耐用年数と維持管理費用予測について伺う。

第2通告者

14番 大倉秀夫 議員

1 現図書館移転後の跡地利用について

現図書館がこもればの森(生涯学習センター)移転後は、現図書館をシルバー人材センターの事務所に利用できないか。

2 中央公民館付近の冠水対策について

毎年、台風シーズンになると集中豪雨で中央公民館の西側から南方向の交差点が冠水する。そこで、公民館西側道路の市道部分を片側だけでもU字溝を布設し、雨水だけ黒沼用水に流せるような工事はできないか。

3 観光協会外壁の改修について

教育支援センター、保健センター分館、観光協会に使われている建物が非常に景観が悪く老朽化が進んでいるので、外壁だけでも塗装してはどうか。

第3 通告者

11番 鬼久保 二郎 議員

1 市内の公園について

(1) 子育て支援課が管轄する児童遊園の数、平均面積、年間維持管理費、街づくり課が管轄する街区公園、近隣公園、その他の公園の数、平均面積、年間維持管理費について。

(2) 今後は、今のまま維持管理を続けるのか。違う方向性、対策を考えているのか。

(3) 都市計画税をどのように使っているのか。

新しい都市公園を作る予算は今後、考えているのか。

2 総合運動公園内のアスレチック広場の有効な使い方はないか

(1) アスレチック広場は、市民に広く利用できるよう作られているが、使用年齢を考えて作られているか。

(2) 小学校入学前の幼児から中高年が利用できる広場に改修の方向性は考えていないのか。

第4 通告者

3番 関口 昌男 議員

1 国民健康保険の都道府県単位化について

(1) 国民健康保険の都道府県単位化について。

(2) 比較的高い保険税額と下から5番目の法定外繰入金について。

(3) 保険税の算定方式について。

(4) 国民健康保険税の引き上げは許されない。

(5) 法定外繰り入れも堅持して国民健康保険税の改善を図るべきでは。

2 白岡市店舗・住宅リフォーム資金補助事業について

(1) 補助事業の執行状況について。

(2) 補助事業のこれまでの経過について。

(3) 「店舗」に係る事業のこれからの見通しについて。

(4) 予算執行は、店舗100万、住宅リフォーム200万と分けずに

執行しては。

(5) 今後の店舗・住宅産業事業者への支援事業について。

3 人事院勧告と市役所に働く労働者の給与改善について

(1) 人事院勧告の背景と今年的人事院勧告について。

(2) 人事院勧告と関連して白岡市役所職員の給与改定について。

(3) 市役所に働く全ての労働者の賃金改定について。

(4) 最低賃金以外の労働条件の改善について。

(5) 放課後児童支援員の処遇について。

第5通告者

8番 遠藤 誠 議員

1 地域開発に関する民間の動向に対する市の対応について

(1) なぜ民間の説明会に臨席しないのか。

(2) 開発の望まれる4地区の現状、開発の主体は多様なほうがいいのではないか。

(3) 市の姿勢に見る他人事風について。

(4) 民間の計画にある雨水等調節池について。

(5) 白岡中学校周辺の開発が優先することについて。

2 市制5周年事業について

(1) 顕彰するおおむねの人々は、公務員や公職中心では。

(2) 市民を優先するのではないか。

(3) 公務員中心に、独善的に式典をすることに意味はないのでは。

3 新規農業参入者について

(1) 株式会社や農業法人として市内の業者はどのくらいいるのか。規模と内容について。

(2) 中間管理機構を使うことのメリットとデメリットは。

4 梨組合への補助金について

(1) ふるさと納税にアップしている梨園の選定は。

(2) 梨の箱にマスコットは付いているのか。

(3) 補助金はシティプロモーションの浸透の役に立たないのか。

5 使用料の見直し状況について

生涯学習センターの使用料に合わせて他の施設の料金見直しは。

6 デザインと市への愛着について

生涯学習センターのロゴについて、市民は3つの中から投票だけで施設やロゴへの愛着は生まれないのではないか。

第6 通告者

2 番 渡 辺 聡一郎 議員

1 駅前や市街地の活性化について

- (1) 白岡市は、全国的にも昼間人口が少なく、極端なベッドタウン化が進んでいる。この状況についてどのように考えているか。
- (2) ベッドタウンのデメリットとして地域経済が停滞している。市民の消費も市外へ流出している。どのような政策が必要と考えるか。
- (3) 白岡駅周辺について総合振興計画では、「市の玄関口にふさわしい魅力ある商業・業務・文化交流施設の集積を図る」としている。具体的にどのように進めていくのか。
- (4) 駅周辺のエリアプロデュースの必要性について伺う。専門家を交え、商店街の計画づくりや魅力ある新店舗の誘致等を進めてはどうか。
- (5) 新白岡駅周辺の商業環境の現状をどのように捉えているか。まちづくりの活性化についてディベロッパーとどのような協議をしているか。
- (6) まちの現状を踏まえ、主婦層やシニア世代をターゲットにした起業支援が必要ではないか。

2 大山の自然を活かした観光戦略を

- (1) 大山地区におけるグリーンツーリズムと民泊の可能性について伺う。
- (2) 総合振興計画では、国道122号沿いのエリアにてレクリエーション的土地利用と商業サービス誘導を進めるとしている。将来像と今後の取組について伺う。
- (3) 柴山沼の観光政策について伺う。具体的に観光戦略・開発計画を策定し、効果的な投資を行っていくべきではないか。

第7 通告者

17 番 高 木 隆 三 議員

1 母子健康情報サービスについて

スマートフォンを使って、子どもの健診記録など、成長段階に合わせて必要な情報を届けるサービスを実施する考えはないか。

2 改正住宅セーフティネット法について

(1) 改正住宅セーフティネット法を受け、当市における福祉部局の考えは。

(2) 民間の空き家・空き室を活用し、住宅の確保が困難な住宅確保要配慮者への入居支援（居住支援協議会設置）に取り組む考えは。

3 外国人市民の言語サポートについて

(1) 当市の外国人住民数のうち中長期滞在が見込まれる在留資格者数と外国人住民数の推移は。

(2) 外国人市民が行政窓口で言語サポートが必要になった時の対応は。

第8 通告者

9 番 黒 須 大 一 郎 議 員

1 市制5周年を迎え市長の目指すもの

(1) 3期目はジャンプとし、これまでの行財政運営、事業の継続を図り、更なる成長発展につなげたいとしている。ついては、市制5周年を迎え、どんなまちを目指しているのか。それは、どのような絵なのか。

(2) 新市誕生時に県内の住み良さナンバー1が、年々順位を下げていく状況である。市長が唱えるポップ、ステップとはいけていないと考えるが、要因はどこにあると考えているのか伺う。

(3) 「疾風に勁草を知る」という中国の歴史書である後漢書の王覇伝の故事を用いて決意を示した市長は、その言葉を残した光武帝になぞらえたのか、勁草と称された王覇になぞらえたのか。

(4) 慶應義塾大学SFC研究所との連携で、市長が期待していること。

2 産業振興について

(1) 昨年9月のご答弁より、(平成20年12月より本件は、多数一般質問されている。)白岡中学校周辺の土地利用について、具体的にどのような企業・企業グループが進出を持ちかけているのか、いないのか分からない。そのような状況で、県等の許認可がある一体的な複合開発が進められるとは考えられない。どのような企業等が持ち

かけているのか。いるならば、いつからでどのような条件等があるのか。

- (2) 商工会の会員数は、近年の人口増に反比例して減少している。(平成23年度総会資料より商工業者数1,389、会員785、組織率56.5%、平成29年度総会資料より商工業者数1,293、会員738、組織率58.2%)それで街のにぎわいが可能なのか。課題は何と認識しているのか。

※ 市内交通量の変化や生活圏の違いなどを踏まえて。

- (3) なぜ産業団地の企業は、ほとんど地域の商工会や工業団地振興会等の活動に加入協力しないのか。

- (4) リーダー不足、環境整備や後継者の課題へ市は積極的姿勢を。

※ 継続性・発展性・個性があるイベントと河村瑞賢に学ぶリーダーづくり

第9 通告者

16番 菱 沼 あゆ美 議員

1 防災について

- (1) 防災では、更なる自助・共助の強化が大切である。自宅の安全確保、各種災害別と時間別による避難経路の徹底、地域防災力の向上などの取組は。

- (2) 地域で女性リーダーを避難所運営などの要所に配置することは課題である。実現に向けて地域の役職に女性枠を設け、普段から女性の声が反映しやすい環境を作っていくことが肝要と考えるが、具体的に推進できないか。

- (3) 防災士の現状や取組は。

- (4) 災害廃棄物の置き場所は決まったのか

- (5) 気象による災害に有効とされるタイムラインの取組は。

- (6) 公園に防災機能を持たせている自治体がある。既存の公園に防災機能をプラスしてはどうか。

2 がん対策の向上について

- (1) 乳がん健診で、乳房エックス線撮影（マンモグラフィー）の結果通知に高濃度乳腺の記述が入るようになったが、問い合わせなどの

反応はどうか。また、高濃度乳腺のとらえ方や周知について伺う。

(2) がん検診の受診率の近年の傾向はどうなっているか。また、受診率の向上のための取組として、例えばピンクリボンキャンペーンなどの機会に、市民への啓発を行ってはいかがか。

(3) 将来を見据えると、子どもたちへのがん教育が重要になってくる。取組の状況を伺う。

3 公会計の取組について

(1) 公会計への取組状況と今後について伺う。

(2) 公会計をどのように活用していくのか。

(3) 市民への周知が大切だが、どのように行っていくのか。

第10 通告者 15番 江原浩之 議員

1 小学校の英語教育について

小学校の英語教育の現状と今後の取組は。

2 オータムフェス開催について

オータムフェスティバルの開催に向けた取組状況は。

第11 通告者 6番 細井 公 議員

1 男性不妊治療助成の拡充について

女性不妊治療に理解が進むとともに、助成の拡充が行われ利用して懐妊を目指す夫婦が多くなっているが、男性不妊治療に関しての理解はまだ十分とはいえない。市の今後の方針を伺う。

2 行政監督者の監督行為について

放置自転車関連の表示板は、白岡駅東口中心の訂正。今回の訂正と2回にわたり訂正を行ったが、いまだに未修正看板が残り、一度に終る仕事に3回も時間と経費がかかる無駄を生じさせることとなっている。監督責任を伺う。

第12 通告者 5番 松本栄一 議員

1 通学路の安全確保について

(1) 各小中学校の通学路における白線及びグリーンベルトの設置条件及び年間設置計画はどのようなになっているか。

(2) 通学路が朝の出勤時の自家用車の抜け道と交差する場所があり、

大変危険なため、横断歩道や学童横断注意の看板設置の考えはないか。

2 第5次総合振興計画における商業サービス施設の誘致について

県道春日部菖蒲線の沿道について、商業サービス施設の誘致を図っているが、隼人堀川の岡泉調節池の整備もかなり進んでいる。そこで、その周辺を水辺の公園等に整備して、施設誘致の起爆剤とする考えはないか。

第13通告者

4番 齋藤信治 議員

1 特別支援学級の対応について

市内の全小中学校に特別支援学級が設置されている。しかし、学級ごとによりかなり差異があるように見える。

- (1) 市内の特別支援学級の現状について伺う。
- (2) 担当教師の資格、資質、選任条件など過去に発生した問題の反省や改善した点などと合わせて伺う。
- (3) 開かれた教室に。特別支援学級では、教師と児童・生徒が対一となる場面が多い。いつでも、他の人々から見える開かれた教室にしたらいかがか。
- (4) 交流学習会を多くの人に公開できないか。
- (5) 親教室で過ごせる時間をできるだけ作れないか。

2 障がい者施設等の安全対策について

昨年7月に相模原市で痛ましい事件が発生した。障がい者や保護者は、大変不安を感じている。

- (1) 市内の施設等の現状について伺う。
- (2) 各施設の安全対策はできているのか。
- (3) 障がい者に対する差別の実態は。その解消策は。
- (4) 「障害者差別解消地域協議会」の設置を。

第14通告者

1番 井上日出巳 議員

1 白岡中学校周辺区域における土地利用について

- (1) 都市的な土地利用を図るためには、様々な行政手続が必要と思われるが、流れはどうなっているのか。

(2) 許認可の可能性を含め、県との事前相談・協議が必要と思われるが、どの程度進んでいるのか。

(3) 市街化区域への編入は、隣接する白岡駅西口地域と一体的な市街化整備が求められると思うが、双方の整備をどのように進めていくのか。

2 篠津北東部地域における大規模農地利用事業について

(1) 第2回の関係者説明会で、事業計画者から新たな計画とスケジュールが示されたが、市はどの程度この計画を把握しているのか。

(2) 農地売渡承諾書が添付されていたが、売買契約書が締結された後、不許可となった場合の農地の管理責任はどうなるのか。

(3) かかる状況を鑑み、市は当該農地をどのように保全していこうと考えているのか。